



**10月21日(土)**  
午後3時開演  
(午後2時30分開場)  
ところ 津山文化センター  
(山下)

**マーラー交響曲  
第4番演奏会**

下野竜也さんの指揮による京都市交響楽団とソプラノ独唱に今久保宏美さんを迎え、テーマ作曲家グスタフ・マーラーの「交響曲第4番」をお届けします。



料金 一般=5,000円、高校生以下=無料 (整理券要)  
曲目 交響詩「死と変容」op.24 (R.シュトラウス)、交響曲第4番ト長調 (G.マーラー)



下野竜也さん (指揮者)

**津山の人へメッセージ**  
わたしは、津山での演奏は初めてです。津山の皆さんとお会いできることをとても楽しみにしています。ぜひ、壮麗な響きのオーケストラサウンドを全身で浴びてください。

**「マーラー」交響曲第4番の魅力は**  
マーラーはやはり偉大な音楽家だと思います。大指揮者にして、作曲家。現在で言えば誰に当たるでしょうか。きっと誰も太刀打ちできないほどの音楽家だったと思います。ある種、大変アクの強い音楽を書いている印象の作曲家ですが、この第4番は、温かさやユーモアに満ち溢れた歌の交響曲です。事前に、歌詞の意味などを知っておくと、より親しみを持って聴いていただけると思います。

**津山でタクトを振る意気込み**  
津山での音楽祭「マーラー」というイメージが、私の中にずっとありました。音楽祭の音楽監督である船山隆先生からこの話の依頼があった時、うれしさと同時に、わたしが思うマーラーの聖地である津山で演奏することに緊張を覚えました。こうして伝統ある音楽祭で指揮ができることに感謝しています。

**インタビュー**

**特集**  
**第10回 津山国際総合音楽祭**  
The 10th Tsuyama International All-Round Music Festival 2017  
**平成29年10月21日(土)~11月26日(日)**

**プレ期間** 平成29年9月3日(日)~10月20日(金)



プログラムパンフレット

今年は、第10回津山国際総合音楽祭が開催されます。この音楽祭は、「未来に架ける人の輪・音の輪」をテーマとして、津山にゆかりのある人や市民などが、コンサートやリサイタルなど、多彩な催しで音楽を奏でます。皆さん、ぜひご参加ください。  
〒430-0801 津山国際総合音楽祭委員会事務局 (津山文化センター内：山下) ☎24-7744



**テーマ作曲家：グスタフ・マーラーとは**

グスタフ・マーラー (1860~1911年) は、19世紀から20世紀にかけて、東洋と西洋、芸術音楽と民族音楽、高尚な音楽と通俗的な音楽、声と楽器、声楽曲と器楽曲、19世紀音楽と20世紀音楽、生と死など、さまざまな要素を組み合わせる新しい音楽的宇宙を創造した音楽家として知られています。

音楽祭のメインテーマ「未来に架ける人の輪・音の輪」は、音楽を通して人づくりを目指すという意味で設けられました。音楽を通じた人と人、プロとアマチュア、クラシックとポピュラー、そして地域と地域、地方と中央、日本と世界の交流を培うことへの希望を象徴するものです。万能な作曲家であるマーラーは、未来に向けてさまざまな要素を含みながら音楽都市として飛躍を目指す津山にふさわしい作曲家です。

グスタフ・マーラー